

## ■ 概要

工場等の傾斜した屋根（折板・スレート）の天頂部に設置した栽培槽から、「つる性植物」を繁茂・下垂させて屋根全体を覆う屋根面緑化システムを開発しました。

「つる性植物」の維持管理は、肥料管理と灌水(かんすい)管理の自動化が可能な養液循環式水耕栽培とすることで、「つる性植物」の栽培管理やシステムのメンテナンスが容易となります。

## 特長

### 屋根面の表面温度が低下

スレート屋根面を緑化をすることにより、屋根表面で約30℃程度の低減効果を確認。

### 「つる性植物」のヘデラを採用

年間を通して常緑（枯れない）であることや、耐暑性や耐寒性など環境ストレス耐性に優れている、「つる性植物」のヘデラを採用。

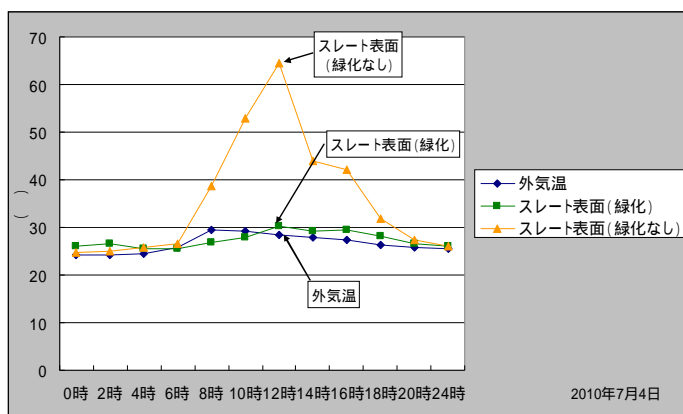
### 栽培方法は養液循環式の水耕栽培

「つる性植物」の管理は、栽培槽から排水された培養液を培養液タンクに回収し、再び給水ポンプで循環して再利用する養液循環式水耕栽培。軽量化が図れ、屋上面の防水処理が不要。

## 屋根面緑化イメージおよび効果



工場屋根緑化のイメージ



スレート屋根表面温度の推移